



# 第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

## 1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	平成27年 1月 7日
-------	-------------

市所管部署	石巻市 石巻市牡鹿総合支所地域振興課
-------	--------------------

## 2 法人名称等

法人名称	一般社団法人おしかパブリックサービス
法人所在地	石巻市 鮎川浜大台37番地2
設立年月日	平成16年 2月 20日
代表者職・氏名	代表理事理事長 川田 靖夫

設立目的・経過	牡鹿半島地域において生活環境の改善、維持向上及び地場産業の振興等に関するサービスを総合的に提供し、街づくりの推進に寄与することを目的とする。
---------	--

## 3 定款上の事業内容

- (1) 公営乗合バスの車両管理及び運転業務又は運行業務
- (2) 学校給食の運搬業務
- (3) 家庭ごみの収集運搬及び中間処理業務
- (4) 労働者派遣業務
- (5) 地域公共施設の管理業務及び保守業務
- (6) 道路その他用地の除草、刈払い、支障木の伐採等の業務
- (7) 地場産品等の開発、生産、紹介、販売、研究等に関する業務
- (8) 捕鯨に関する広報活動及び情報提供事業
- (9) 観光お土産品等取扱小売店の経営
- (10) 観光案内所の運営
- (11) 前各号に掲げる事業に付帯又は関連する事業

## 4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
3,550 千円	3,000 千円	84.5%	個人	100 千円	2.8%
			個人	100 千円	2.8%
			個人	50 千円	1.4%
			代替基金	300 千円	8.5%

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

## 5 役員・職員の状況

### (1) 役員状況

	H23期末	H24期末	H25期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	2	2	2
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	3	3	3
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

### (2) 職員状況

	H23期末	H24期末	H25期末
常勤	2	2	2
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	20	24	20
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	22	26	22
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

## 6 経営理念・方針

様々な住民サービスをとおして牡鹿地域における生活環境の向上、就業機会と雇用創出による地域の復興に貢献することを目指す。

## 第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

## 7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度期
石巻委託業務の売上高	千円	目標計画	74,220	95,000	96,000	98,000	100,000
		実績	80,281				
目標・指標の説明			平成26年度の目標額の増額については牡鹿交流センター関係業務受託によるものである。27年度以降についても受託継続、及びその他の業務受託を目指すところである。				
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度期
民間委託業務の売上高	千円	目標計画	4,000	6,300	6,800	7,300	7,800
		実績	6,251				
目標・指標の説明			平成26年度以降の目標額については、一般の除草作業等の増加を見込むものである。				
目標未達の場合の要因分析							

## 8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
牡鹿地区一般廃棄物収集運搬業務 牡鹿地区市民バス運行業務 学校給食運搬業務 公共施設等清掃除草等業務	東日本大震災で従来からの公共サービス事業提供が困難な中、経常利益を計上出来ている。公共事業の復興状況に緊密に関係するが、今後は更なる受注増加が課題である。		
事業の公共性、公益性	石巻市委託業務		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
民間除草等業務	東日本大震災で多くの住民が被災している中で、経常利益を計上出来ている。地域住民の生活環境復旧状況に大きく関係するが、今後は更なる受注増加が課題である。		
事業の公共性、公益性			

## 9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

法人の実施する事業には十分な公益性が認められ、安定的に就業機会を提供するなど事業成果も評価できる。また、市からの補助金は受けておらず、経営の自立性は保たれているものと判断される。但し、業務の大半は自治体からの委託が占めており、今後は自治体の外部委託の減少も予想されることから、震災の復旧状況にもよるが、経営安定のため、民間からの委託業務の受注増加に取り組んでいただきたい。なお、牡鹿地区の公共施設について震災からの復旧の過程において指定管理者制度の導入を検討していることから受託できる組織体制を構築していただきたい。
--

## 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	一般社団法人おしかパブリックサービス
------	--------------------

## 1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	平成23年度期	平成24年度期	前期比	平成25年度期	前期比
	流動資産	12,653	12,361	-2.3%	12,150	-1.7%
うち 現金・預金	6,857	3,709	-45.9%	4,344	17.1%	
固定資産	305	1,035	239.3%	1,054	1.8%	
(1) 基本財産	305	1,035	239.3%	1,054	1.8%	
(2) 特定財産						
(3) その他の固定資産						
資産の合計	12,958	13,396	3.4%	13,204	-1.4%	
貸方（科目）	平成23年度期	平成24年度期	前期比	平成25年度期	前期比	
流動負債	7,806	8,113	3.9%	6,604	-18.6%	
うち 短期借入金						
固定負債	0	0		0		
うち 長期借入金						
負債合計	7,806	8,113	3.9%	6,604	-18.6%	
正味財産	5,152	5,283	2.5%	6,600	24.9%	
資本金	3,550	3,550	0.0%	3,550	0.0%	
利益剰余金	1,602	1,733	8.2%	3,050	76.0%	
その他						
負債・正味財産の合計	12,958	13,396	3.4%	13,204	-1.4%	

損益計算書（P/L）	科目	平成23年度期	平成24年度期	前期比	平成25年度期	前期比
	一般正味財産増減の部	▲ 106	▲ 374	252.8%	1,143	-405.6%
営業利益	▲ 498	▲ 476	-4.4%	▲ 174	-63.4%	
売上高	80,322	95,223	18.6%	86,532	-9.1%	
売上原価・販売管理費	80,820	95,699	18.4%	86,706	-9.4%	
評価損益等計						
経常利益	392	102	-74.0%	1,317	1191.2%	
営業外収益	890	578	-35.1%	1,491	158.0%	
営業外費用	▲ 498	▲ 476	-4.4%	▲ 174	-63.4%	
特別利益	561	▲ 42	-107.5%	0	-100.0%	
特別利益	561	0	-100.0%	0		
特別損失	0	▲ 42			-100.0%	
税引前当期利益	953	60	-93.7%	1,317	2095.0%	
法人税	72	▲ 70	-197.2%	0	-100.0%	
税引後当期利益	881	130	-85.2%	1,317	913.1%	

（※）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。  
 ※財務諸表を添付すること。

## 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

キャッシュ・フロー計算書（C/S）	区分	平成23年度期	平成24年度期	前期比	平成25年度期	前期比
	事業活動によるキャッシュ・フロー	0	▲ 2,168		1,138	-152.5%
	税引前当期利益		60		1,318	2096.7%
	減価償却費		250		483	93.2%
	売上債権の増減		▲ 2,677		883	-133.0%
	仕入債務の増減		▲ 74		▲ 538	627.0%
	その他の増減		203		▲ 1,008	-596.6%
	法人税の支払額		70		0	-100.0%
	投資活動によるキャッシュ・フロー	0	▲ 979		▲ 503	-48.6%
	固定資産の取得		▲ 979		▲ 503	-48.6%
固定資産の償却						
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0		0		
借入金						
増資						
現金及び現金同等物に係る換算差額						
現金及び現金同等物の増減額	0	▲ 3,147		635	-120.2%	
現金及び現金同等物期首残高		6,856		3,709	-45.9%	
現金及び現金同等物期末残高	0	3,709		4,344	17.1%	

（※1）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

## 2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成23年度期	平成24年度期	前期比	平成25年度期	前期比
補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0		0	
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0		0	
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0		0	
委託料及び指定管理料	77,964	92,050	18.1%	80,281	-12.8%
借入金（期末残高）	0	0		0	
短期借入金	0	0		0	
長期借入金	0	0		0	
出資・出捐（期末時）					
債務保証額（期末残高）					
損失補償額（期末残高）					
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）					

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

## 情報公開シートⅡ 補足資料

法人名：一般社団法人おしかパブリックサービス

### 1 貸借対照表に関する補足

#### (1) 総括分析

利益剰余金の76.0%増加は、委託業務の増加による事業収益によるものである。

#### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
利益剰余金	76.0%増加	委託業務の増加

### 2 損益計算書に関する補足

#### (1) 総括分析

経常利益の1191.2%増加は、震災関連の補助金を利用したためである(①宮城県：中小企業グループ施設等復旧整備補助金②厚生労働省：被災者雇用開発助成金)。また売上高が-9.1%となっているのは牡鹿交流センター清掃業務等の受注が減少したためである。

#### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
売上高	9.1%減少	牡鹿交流センター清掃業務等の受注減
経常利益	1191.2%増加	補助金の活用